

NextScreenの運用形態②

<ディスプレイエクステンダを使用した例>

モニタの近くにPCが置けない、モニタの近くに置きたくない、モニタ用の電源がとれないなどの場合、ディスプレイエクステンダを使用して運用することができます。

ディスプレイエクステンダとは・・・ ディスプレイ(モニタ)とパソコンを離れた場所に置いて使用するための周辺機器。パソコンに接続した送信機とモニタに接続した受信機をイーサネットケーブルでつないで使用します。使用するイーサネットケーブルは、LAN配線とは別に用意する必要があります。

PCが1台、モニタが1台の場合

Standard Edition

MultiChannel Edition

1台のPCで、「作成/編集」「スケジュール」「表示」を行ないます。1台のWindows PCにエディタとビューワをインストールし、送信機を接続します。モニタには受信機を接続し、送信機とイーサネットケーブルで接続します。

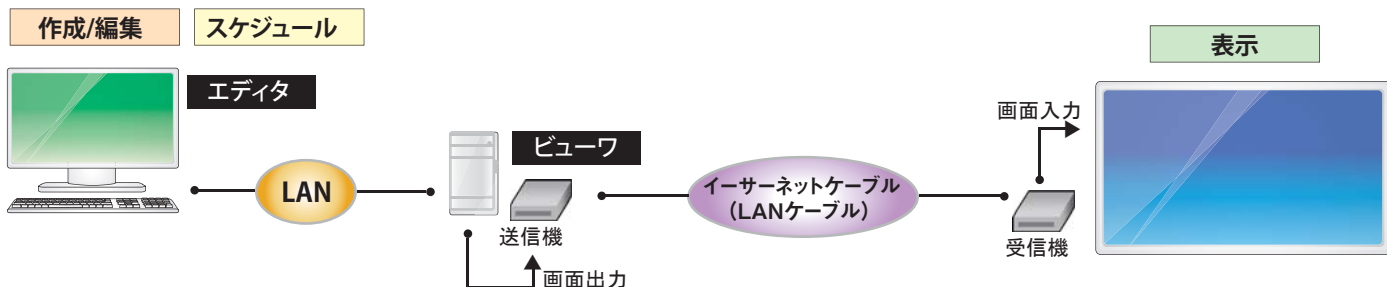


エディタ用のPCとビューワ用のPCがそれぞれ1台にモニタが1台の場合

Standard Edition

MultiChannel Edition

「作成/編集」「スケジュール」をエディタ側のPCで行ないます。2台のPCはLANで接続されます。ビューワ側のPCに送信機を接続、「表示」するモニタには受信機を接続して、それぞれをイーサネットケーブルで接続します。



モニタが複数の場合

MultiChannel Edition

「作成/編集」「スケジュール」を1台のPCで行い、「表示」を複数のモニタで行ないます。エディタとビューワのPCはLANで接続されます。複数のチャンネルを扱えますので、ビューワに別のコンテンツを表示させることができます。(全て同じコンテンツも可能)ビューワ側のPC1台につき送信機を1台接続します。「表示」するモニタごとに受信機を接続して、それぞれをイーサネットケーブルで送信機と接続します。

1台のエディタで複数のビューワへアップロードするためには、ビューワ数に応じた追加ライセンスが必要になります。

